

□議員名：福田勝政

1 有帆の道路整備の安全対策について

論点	有帆小学校前の歩道橋だが、高齢者の方は階段の昇降が負担になっている。地元との話し合いが十分されていないのではないか。
回答	地元説明会は十分行っている。地元や小学校との意見交換のうえ、児童の安全対策を主目的として、地下道にすることも含め検討を行った結果、歩道橋の設置と横断歩道が平面交差となり、高齢者の方は歩道を通していただいてもよい。

論点	現在児童は、歩道橋を降り、横断歩道を渡り校門へ入っていくようになっているが、横断歩道を使用することがないよう、校門近くに歩道橋を建設することはできなかったのか。
回答	今後の道路整備で、児童は歩道橋から降り、児童専用の歩道を通り校門へ入るようになるが、そこには車が通れない状況になると聞いている。

2 小野田・楠企業団地の企業誘致の状況と今後の対策について

論点	工業団地が売れば町も活気づくと思われるが、いまだヘリポートとして一部しか売れていない現状だが、今後の市の方針はどのように考えているのか。
回答	平成 24 年 3 月、山口県が県西部地区の防災拠点と位置づけ、宇部市域 4 区画を含む 7 区画 8.1 ヘクタール取得されたので、あと山陽小野田市の 12 区画 14.2 ヘクタール残っている。この 12 区画に優良企業を誘致することを喫緊の課題として誘致活動に取り組んでいる。

論点	小野田・楠企業団地は、雑草にまみれた状態だが、誘致活動の実態はどうか。
回答	昨年度は 250 社、今年度も現在まで 160 社を訪問し、関連企業の情報収集し進出要請を行っている。今年度末をもって山口県とともに実施している用地取得費の 80%補助が終了することから、当該補助制度の継続も含めて、新たな誘致施策や P R 方法の強化及び検討し

	ていく。
--	------

論点	小野田・楠企業団地は、年に約 800 万円の利子を支払っているうえ、用地の管理費用もかかるが、どのように考えているのか。
回答	今現在は、製造業と流通業を中心とした企業誘致を進めている。今後も見通しがつかなければ、県と市の土地開発公社の所有であるので、県とも十分協議していきたいと考えている。